

# 生駒市保護司会だより

NO.6

## ～令和5年度活動報告～

発行 生駒市保護司会  
事務局 生駒市社会福祉協議会  
生駒市元町1丁目6番12号 0743-75-0234  
発行責任者 米田秀一



## 1年をふり返って

生駒市保護司会

会長 米田 秀一

皆様には、平素より生駒市保護司会にご支援ご協力を賜り心から厚く感謝申し上げます。さて、早いもので木村前会長から去年4月に右も左もわからぬまま引継ぎを受け、気が付けばあっという間に1年が過ぎてしまいました。この間、奈良保護観察所の職員の皆様から各方面に渡りご指導やご教示を頂くと共に、奈良県保護司連合会の会議において、各地区の取り組みや悩み等の事例発表を聞くことで、大変参考になることも多く、いい機会を与えていただいたと感謝しているところでございます。

生駒市保護司会の運営についても、まだまだ解決していかなければならない難問が山積みされています。一番の問題は、保護司候補者の確保です。日本全体で保護司定数は52,500人ですが実数は約47,000人です。奈良県では定数578人に対し実数は547人(令和6年1月1日現在)です。生駒市では定数28人のところ現在22人の方が保護司として活動して頂いています。充足率は奈良県内14地区中で一番低いことから、如何にして保護司候補者を増やしていくかが喫緊の課題となっています。

日本全国において保護司数が減少する中、これをいかにして食い止めた、保護司候補者を確保するにはどうすればよいかについて、法務省は持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会を立ち上げられ、2年を目途として13回の検討会を開催し、令和7年1月に報告書をまとめられる予定と聞いています。

生駒市保護司会としては、結果を待つことなく保護司候補者確保に向けて全員一致団結して全力で取り組んで参る所存です。生駒市を始め各種団体・企業等の皆様には、今後益々のご尽力を頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

## 令和5年度 奈良県更生保護事業関係者顕彰式典

10月18日(水) 奈良県橿原文化会館大ホールにて顕彰式典が開催されました。  
生駒市では、保護司会より7名、更生保護女性会より3名が受賞されました。(敬称略)



## おめでとうございます

全国保護司連盟理事長表彰

米田 秀一

近畿地方更生保護委員会委員長表彰

小山 啓二

近畿地方保護司連盟会長表彰

黒田 八郎 中川 徳弘

近畿地方保護司連盟会長会長感謝状(家族功労)

大槻 禮子

日本更生保護女性連盟理事長表彰

藪田 順子

近畿更生保護女性連盟会長表彰

安井 純子

奈良県知事感謝状

木村 交作 中村 けい子

奈良保護観察所長感謝状(更生保護女性会員)

中嶋 寛子

## 更生保護サポートセンター和歌山を訪ねて

令和6年2月16日、梅がほころぶ季節に更生保護サポートセンター和歌山を訪問した。令和3年の県外研修予定がコロナ禍により延び、3年ぶりの実現となった。サポートセンター和歌山の設立は、生駒市更生保護サポートセンターより早く昨年10周年を迎えられた。



和歌山保護司会小川会長はじめ、副会長、事務局長の皆さんが出迎えてくださった。

会長の挨拶、自己紹介のあと、生駒市からの質問に答えていただく形で話し合いが進んでいった。サポートセンターの運営や、協力雇用主会の持ち方などの話題では、課題や問題点などいろいろ意見交流ができた。

社会を明るくする運動のイベントや作文の収集のしかたなどの話題は両保護司会共通の思いがあった。和歌山

では、メディアをうまく使い、地域社会に周知をはかられていることを聞き、社明運動の理解を促進するいい方法であると感じられた。

最後に、更生保護女性会・BBS会などとの交流、連携についても話をうかがった。

交流会は穏やかな雰囲気の中で終え、参加者それぞれが気づきや収穫を得る 機会になったと思う。

研修部会 上原夏子



## 自主研修（更生保護女性会との合同研修）

3月14日、更生保護女性会との合同研修で、奈良市の元興寺を尋ねました。

国宝極楽堂で、住職元興寺文化財研究所理事長辻村泰善様のお話を伺いました。仏教や元興寺の歴史等を分かりやすくお話し頂いた後。法輪館を見学させていただきました。法輪館では、数々の重要文化財を見せていただき、歴史遺産の収集・保存・修復の難しさを学ばせて頂きました。開発とともに失われていく歴史遺産を後世にどのように残していけばよいか考えさせられた研修でした。





# 令和5年度 活動報告

## 令和5年

- 4 月 13日 (木) 部会長会 役員会
- 4 月 27日 (木) 第一回統一研修会 「生活環境調整について」  
総会
- 6 月 1日 (木) 生駒市社明運動推進委員会
- 6 月 「社会を明るくする運動」作文依頼・ポスター配布
- 6 月 5日 (月) 犯罪予防部会
- 6 月 7日 (水) 総務部会 協力組織部会
- 6 月 8日 (木) 研修部会
- 6 月 30日 (金) 「社会を明るくする運動」幟旗・横断幕設置
- 7 月 2日 (日) 生駒駅前街頭啓発 内閣総理大臣メッセージ伝達式
- 7 月 3日 (月) 市内巡回パトロール
- 7 月 13日 (木) 第二回統一研修会 「就労支援について」  
部会長会
- 7 月 31日 (月) 市内巡回パトロール 幟旗・横断幕撤去 犯罪予防部会
- 8 月 8日 (火) 第一回自主研修会 「保護司専門ホームページ H@研修」
- 8 月 24日 (木) 社明運動作文選考会
- 10月 12日 (木) 部会長会 役員会
- 10月 18日 (水) 奈良県更生保護事業関係者顕彰式典
- 12月 22日 (金) 令和5年度「社会を明るくする運動」作文コンテスト生駒市表彰式



第1回自主研修



顕彰式典

## 令和6年

- 1 月 9日 (火) 県第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト奈良県表彰式
- 1 月 17日 (水) 部会長会 役員会
- 1 月 18日 (木) 第三回統一研修会 「専門的処遇プログラムについて」
- 2 月 16日 (金) 県外研修 更生保護サポートセンター和歌山
- 3 月 14日 (木) 第二回自主研修会・更生保護女性会合同研修会

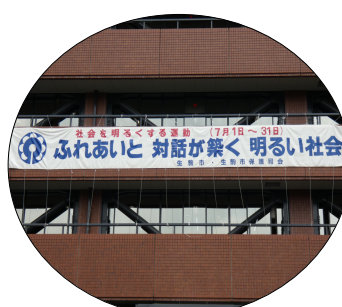
## 第73回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

7月は、“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です。  
社会を明るくする運動“はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。



生駒駅前啓発活動



市内巡回パトロール

## 生駒市更生保護サポートセンター利用状況

令和5年度	利用実績		利用目的		利用者			
	開所日数	相談件数	会議	面談	保護司	更女	対象者	その他
4月	15日	0件	6回	1回	37人	7人	1人	4人
5月	13日	0件	6回	0回	32人	13人	0人	7人
6月	16日	0件	7回	0回	44人	6人	0人	5人
7月	16日	0件	5回	0回	35人	10人	0人	4人
8月	14日	0件	3回	0回	21人	3人	0人	2人
9月	13日	0件	1回	1回	26人	8人	1人	1人
10月	12日	0件	6回	0回	41人	1人	0人	5人
11月	12日	0件	3回	2回	35人	12人	2人	9人
12月	12日	0件	1回	2回	22人	1人	2人	1人
1月	13日	0件	4回	2回	47人	9人	2人	0人
2月	9日	0件	3回	2回	21人	3人	2人	5人
3月	12日	0件	5回	3回	32人	2人	3人	121人
合計	157日	0件	50回	13回	393人	75人	13人	164人

## “社会を明るくする運動” 作文コンテスト



この作文コンテストは、次代を担う全国の小・中学生に、日常の家庭や学校生活の中で体験してきたことを基に、犯罪・非行のない地域づくりなどについて考えたことや感じたことを作文にすることを通じ、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。



### 優秀作品

#### 小学生の部

鹿ノ台小学校	由利 有俐紗	「社会を明るくするために」	生駒市優秀賞	奈良県佳作
鹿ノ台小学校	羽場 万純	「一人ひとりが社会を照らす」	生駒市優秀賞	
生駒東小学校	増田 朱音	「笑顔とあいさつ」	生駒市優秀賞	

#### 中学生の部

鹿ノ台中学校	泉 愛夢	「人とつながる思いやり」	生駒市優秀賞	
緑ヶ丘中学校	佐藤 穂	「明るい社会への第一歩」	生駒市優秀賞	奈良県優秀賞
光明中学校	澁谷 彩羽奈	「心から感謝をこめて」	生駒市優秀賞	奈良県佳作

#### 生駒市長特別賞

鹿ノ台小学校	奥谷 隼翔	「バス停の掃除」		
生駒中学校	木村 悠人	「『思いやり』を循環させる」		
光明中学校	阪上 音葉	「地域みんなで守られる安全を」		

